

東洋文庫ミュージアム

2012年11月14日~2013年3月10日

もっと北の国から

北方アジア探検史



出演：

大黒屋光太夫

プーシキン

レザノフ

高田屋嘉兵衛

間宮林蔵

プチャーチン

ドストエフスキー

トルストイ

チャーホフ

カムチャツカの若者

ほか

 東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21

TEL: 03-3942-0280

開館時間 ◆ 10:00~20:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日 ◆ 毎週火曜日(但し、火曜が祝日の場合は次の平日)、12月30日~1月1日

協力: ロシア連邦大使館・ロシア連邦交流庁・学習院大学史料館・

東京藝術大学・北海道大学スラブ研究センター

はるかなる北の大地へ

延々と続く赤茶色の丘陵、その先に険しく連なる雪山、それらを縫うように蛇行する無数の河川、固く氷結した湖沼群。シベリアの大地は人を寄せつけぬ雰囲気に満ちあふれています。

しかし、この大自然から生活の糧を得る先住民族や、ヨーロッパからやって来た探検家・学者・貴族・軍人・商人・流刑者、さらには日本から流れ着いた漂流民など、多種多様な人々がこの広大無辺の大地で出会い、縦横無尽の足跡を残しました。

東洋文庫には彼らの活動の一端をうかがえる貴重な書籍や絵画が数多く所蔵されます。神秘のベールに包まれた北方アジアの探検と交流の歴史がいまここに明らかとなります。“時空をこえる本の旅～もっと北の国”へ、皆さまと一緒に旅立ちましょう！



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

- ①② クラシェニンニコフ『カムチャツカ誌』 1768年
- ③ サリチェフ『北東シベリア発見旅行記』 1806年
- ④ 『日本幽囚記』より「高田屋嘉兵衛」 1818年
- ⑤ 大槻玄沢『環海異聞』より「ニコライ・レザノフ」 1807年
- ⑥ 磯吉 談『魯西亜国漂流聞書』 1792-1828年
- ⑦ 村上島之丞『蝦夷島奇観』 1800年頃
- ⑧ 『プチャーチン来航図』 1855年
- ⑨ 『ロシア帝国図』 1794年

ミュージアム開館1周年 特別公開

よみがえる江戸の情景～歌川広重の名所絵がついに登場！！

◆ 広重最晩年の名作 東洋文庫所蔵本は初公開です！！
『富士三十六景』1859年(展示期間:2012年11月14日～2013年1月7日)

◆ これぞ江戸名所絵の金字塔！
『名所江戸百景』1856-58年(展示期間:2013年1月9日～3月10日)

他、歌川広重の代表的な浮世絵風景画シリーズをご覧いただけます。これらの多くが、このたび初公開となる作品です。



『富士三十六景』



『名所江戸百景』



交通案内

駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口)徒歩8分
千石駅(都営地下鉄三田線A4番出口)徒歩7分
巣鴨駅(山手線正面口)徒歩15分



東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21
TEL : 03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

入館料

880円(一般)・680円(大学生)
580円(中・高校生)
280円(小学生)

あわせてご利用ください

----- ミュージアムショップ -----
『マルコ・ポーロ』(10:00～20:00)
----- レストラン -----
『オリエント・カフェ』(11:30～21:30)